



第20回  
なんかん古小代の里  
陶器・梅まつり



出店窯元

- 翌槍窯.....(荒尾市)
- 陶工房 リベルテ.....(荒尾市)
- 小袋焼 末安窯.....(荒尾市)
- 小代焼 ふもと窯.....(荒尾市)
- 小代瑞穂窯.....(荒尾市)
- 小代本谷ちひろ窯.....(荒尾市)
- 小代焼 一先窯.....(長洲町)
- 陶芸丸山.....(玉名市)
- 木の葉猿窯元.....(玉東町)
- 銀河ステーション 陶芸工房.....(和水町)
- 坂下窯.....(南関町)
- 小代焼 岱平窯.....(南関町)
- 寂窯.....(南関町)
- 末吉窯.....(南関町)
- 小代松風焼 野田窯.....(南関町)
- 田原弓陶芸美歩志窯.....(南関町)
- 素月窯.....(南関町)
- 小代焼 たけみや窯.....(嘉島町)
- まもる窯.....(南関町)
- 三池焼.....(南関町)



4年ぶり、春を彩る

南関町まつり実行委員会(委員長…大木義隆<sup>おおくよしのり</sup>副町長)は、「第20回なんかん古小代の里陶器・梅まつり」を3月4日と5日の2日間、南関から館特設会場で開催しました。

メインの「大陶器市」には、荒尾・玉名地域を中心に20の窯元が集まり、それぞれ味わいのある陶器を並べました。

「子ども陶芸展」のコーナーでは、町内の小学6年生が作成したコーヒーカップやお皿など個性光る作品がずらりと展示されました。

窯元や有志高校生による「ろくろ・手びねり無料体験コーナー」では、子どもから大人まで幅広い年代の人たちが陶器づくりに挑戦し、それぞれ思い思いの作品を作り上げました。

同館北側駐車場に設営されたステージでは、文化協会やダンス団体のステージパフォーマンスをはじめ、クイズ大会やひょうとこ踊りなどが披露され、ステージと観客が一体となり、会場は大盛り上がりでした。

同会場には、町内の特産品や農産物、キッチンカーなど約30店舗が並び、買い物を楽しむ人の笑顔が溢れました。

まつりの開催に伴い、サテライト会場の古小代の里公園では、登り窯跡や梅の木のライトアップ、竹あかりの点灯がされたほか、賢木地区の音楽愛好家が集まって多彩な音楽を披露し、観客は幻想的な風景の中で音楽に酔いしれました。

まつりと同日に関町商店街では、3年ぶりに「関の初市」が催され、露店やフリーマーケット等を楽しもうと多くの人で賑わいました。

